

会 議 録

名 称	平成31年度第1回目黒区男女平等・共同参画審議会
日 時	平成31年4月26日（金） 午後6時30分～午後8時15分
会 場	目黒区総合庁舎本館1階 E会議室
出席者	（委員）神尾、小出、岩田、小林、山田、大本、片渕、日吉、佐藤、石塚、 久保、戸口、福田、宮田 （男女平等・共同参画オンブーズ）浅倉、市川 （区側）区長、総務部長、人権政策課長、事務局
傍聴者	なし
配布資料	1 目黒区男女平等・共同参画審議会委員名簿（資料1） 2 目黒区男女平等・共同参画審議会運営要綱（資料2） 3 平成31年度 目黒区男女平等・共同参画審議会 予定表（案）（資料3） 4 条例改正の考え方についての諮問の趣旨（資料4） 5 参考データ等（資料5） 6 目黒区の条例と先行自治体の条例内容（資料6） 7 平成31年度 人権政策課の組織改正等について（資料7）
会議次第	1 開会 2 区長あいさつ等 （1）区長あいさつ （2）区側出席者紹介 （3）委員自己紹介 （4）オンブーズ自己紹介 3 諮問 （1）諮問「性の多様性が尊重される社会の実現に向けた『目黒区男女が平等に共同参画する社会づくり条例』の改正の考え方について」 （2）諮問「『目黒区男女平等・共同参画推進計画』の進捗状況の評価について」 4 審議会運営について （1）審議会の所掌事項等について （2）今年度の予定について （3）条例改正の諮問の趣旨等について （4）小委員会の設置、小委員会委員の指名について <p style="text-align: center;">～休憩～</p> 5 情報連絡会 ～審議会・オンブーズ・人権政策課の情報交換～ （1）平成30年度 男女平等・共同参画の推進に関する年次報告（審議会から）

	<p>(2) 平成30年度 男女平等・共同参画オンブーズ年次報告（オンブーズから）</p> <p>(3) 平成31年度 人権政策課組織改正等（人権政策課から）</p> <p>(4) 意見交換</p> <p>6 閉会</p>
<p>会議の結果及び主要な発言</p>	<p>1 開会 会長が司会・進行 定足数の確認、傍聴者の確認</p> <p>2 区長あいさつ等 (1) 区長あいさつ (2) 人権政策課長が区側出席者を紹介 (3) 委員自己紹介 (4) オンブーズ自己紹介</p> <p>3 諮問 (1) 諮問「性の多様性が尊重される社会の実現に向けた『目黒区男女が平等に共同参画する社会づくり条例』の改正の考え方について」 (2) 諮問「『目黒区男女平等・共同参画推進計画』の進捗状況の評価について」 ・区長が会長に諮問文を渡す ・諮問後、諮問文の写しを会長以外の各委員に配布</p> <p>4 審議会運営について (1) 審議会の所掌事項等について 目黒区男女が平等に共同参画する社会づくり条例、目黒区男女平等・共同参画審議会運営要綱（資料2）に規定する所掌事項を事務局が説明 (委員) 本審議会は、男女平等・共同参画についての審議を行うために委員が集められたものであり、この審議会での性の多様性が尊重される社会の実現に向けた条例改正を議論してもよいのだろうか。その点については、少し議論した方がよいかもしれない。 (区側) 現行の推進計画においても、施策の方向性の一つとして性の多様性について掲げており、本審議会での審議をいただいている。男女平等・共同参画と性の多様性の問題は密接な関係にあり、本審議会において審議をいただきたい。</p> <p>(2) 今年度の予定について ・今年度は、本日諮問が行われた2件の他、年度後半では、目黒区男女平等・共同参画推進計画の改定についても区長からの諮問を予定していることを事務局が説明 ・事業評価と計画改定については、原案を作成する小委員会を設置することを会長が提案し、了承</p> <p>(3) 条例改正の諮問の趣旨等について 条例改正の具体的なスケジュールや、広く性の多様性が尊重される社会</p>

	<p>の実現に向けた取組を、区の施策としてより明確に位置付けるために条例改正が必要であることなどについて、事務局が資料4～6により説明</p> <p>(4) 小委員会の設置、小委員会委員の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業評価に係る小委員会委員を会長が指名し、了承 (神尾委員、小出委員、大本委員、久保委員) ・事業評価に係る小委員会の名称を「事業評価小委員会」に、付託事項は「計画の進捗状況の評価」に、付託期間は「令和元年9月末日まで」とすることを決定 ・推進計画の改定に係る小委員会委員については、会長、副会長が就任する他、3人まで立候補者を会長が募り、石塚委員が立候補する。他に立候補者がいなかったため、次回の審議会までに各委員に検討してもらい、次回に立候補又は会長の指名により小委員会委員を選任することを決定 <p style="text-align: center;">～休 憩～</p> <p>5 情報連絡会 ～審議会・オンブズ・人権政策課の情報交換～</p> <p>(1) 平成30年度男女平等・共同参画の推進に関する年次報告（審議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、平成29年度事業の事業評価を実施した ・大項目の評価について、大項目1～3は平成28年度と概ね同様の状況であり、一定の成果がありつつ、課題もあることから星を3つとしている。大項目4については、概ね十分であるとして星4つとしている ・事業体系別の評価について、大項目1の中項目1～3「働く場における男女平等・共同参画の促進」が1つ下がっており、大項目3の中項目3～4「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の理解促進と健康支援」の星が1つ上がっている。また、大項目4の中項目4～3「区民、事業者等との協働事業の充実」の星が1つ下がっている ・全体的に見て、大項目1はメディア・リテラシー向上に向けた社会教育講座で新しい取組を実施されるなど、評価できる部分もあるが、労働・雇用・職場で「男女平等である」と思う人の割合が、平成30年度の区民意識調査で前年度より低下している点などが評価を下げた理由である ・大項目2「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」については、待機児童数が前年度の半数強に減少したことを評価することができるが、まだたくさんの待機児童や待機高齢者がおり、男性の育児参加が少ない点などを考慮した ・大項目3「人権が尊重される社会の形成」については、多様な性に関する啓発活動が適切に実施されている。また、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの考え方の普及啓発について、家庭教育学級・講座ではいずれの講座でもリプロダクティブ・ヘルス／ライツに関するテーマが取り上げられており、参加者も多かったことなどから評価が上がっている ・大項目4「男女平等・共同参画の推進の強化」については、例年評価が高いところではあるが、「区民、事業者等との協働事業の充実」では、
--	---

	<p>協働事業の動員数が少ない点や、前年度に実施されていた事業者としての企業との協働事業が平成29年度は行われなかった点などを踏まえて評価が下がっている</p> <p>(2) 平成30年度男女平等・共同参画オンブーズ年次報告（オンブーズ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は相談が3件あったが、申出件数としてカウントできるものは0件だった。内訳としては、2件がセクシュアルハラスメント関連のものであり、それについては、相談者に対する情報提供を行うことで対応した。残りの1件は、特別相談の中で受けたものであるが、団体活動内での事案であり、面談して可能な助言を行った。 ・男女平等・共同参画に向けて、制度をより一層活用していただきたいというのが平成30年度を振り返った感想である <p>(3) 平成31年度人権政策課組織改正等（人権政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女平等・共同参画と性の多様性の尊重に向けた取組の一層の推進に向けて、男女平等・多様性推進係を新設した ・男女平等政策推進係の名称を男女平等センター係に変更した ・平成30年度の男女平等・共同参画センターの主な事業として、開催した講座の数、発行物、相談業務、施設の提供、資料室の運営、センター利用登録団体の活動支援等、利用者懇談会、ワーク・ライフ・バランス推進企業等支援事業、男女平等・共同参画センター運営委員会を実施した <p>(4) 意見交換</p> <p>(委員) センター利用登録団体数は昨年と同じか。</p> <p>(区側) 同じである。</p> <p>(委員) オンブーズにセクハラ相談が2件あったとのことだが、どのような場面でどこを紹介したかなど、差支えない範囲で教えていただきたい。</p> <p>(区側) 区が電話相談を受けたものだが、内容については、確認して次回の審議会でお答えしたい。</p> <p>(委員) 意見になるが、従業員向けの研修を実施する予定があり、テーマとしてLGBTを選んだが、現場レベルではそれが現実的な問題として認識されていないのが現状であり、LGBTのことを学んでも具体的にどのようなことにつながっていくのかわからない状況であることを皆さんと共有したい。</p> <p>あと、現在は小学校よりも中学校の方が力を入れて取り組んでいると思うが、子ども達に意識を持たせていくには、どの段階でどのような教育を行うのがよいかも考えていくべきではないか。</p> <p>(区側) LGBTの問題を知ること、自分が仕事で行っているサービスの提供の仕方を変える必要があると気付くこともあり、相手方から具体的な相談があったときに対応できるようにしておくためにも正しい知識を身に付けることが必要である。しかし、現状では、近年理解促進に</p>
--	---

	<p>向けて注目されてきた話であり、ご指摘のとおりまだまだ啓発が必要と考えている。私達もどのようにして現実的なサービスにつなげていけるかを考えながら政策を作っていかなければならないと感じた。</p> <p>(委員) 例えば、介護現場における同性介助の拒否について、認知症の問題として対処するのではなく、性自認や性的指向が原因になっているのかもしれないと考える視点を持つことが必要かもしれない。</p> <p>(委員) こうした人達の内面は日本では表に出にくい。本人が正しい知識を持つことで、これまで自分の内面に閉じ込めていた部分がおかしなものではなく、それがどのようなものであるかを理解することでリアル化も進んでいくと思うので、啓発を行うことは有効だと思う。</p> <p>(委員) 中学校や高校の制服について、子が希望する性別の制服を着させたいと親が要望した場合や、トイレをどうするかということについて、公立学校でもそのような問題が生じることはあると思うが、実際にはどのように対応しているのか。</p> <p>(区側) 制服については、女性でもパンツを選択できる中学校が区内にもある。そのようなことがまさに今回の条例改正と併せて対応指針に盛り込んでいきたい部分でもある。対応指針については、それなりの形になったものを審議会にも情報提供していきたい。</p> <p>(オンブズ) 一昨年は区の施策に対していくつかの申し出があった。保育所の問題や女性委員の問題だった。昨年度は申し出の実績はなかったが、このような制度があるということが浸透していくことで、より男女平等や共同参画が進んでいくと思うので、オンブズの認知度向上に向けて引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>(委員) 来年はオリンピック・パラリンピックの開催に伴い、多くの国の人が日本を訪れる。それは、差別がいけないことであるという認識を浸透させる好機になると思う。</p> <p>あと、中学校の制服で女性がパンツを選択できるという話があったが、男性がスカートを選べるかということ、それはまた難しい問題であり、それがLGBTの壁ではないかと思った。</p> <p>海外では、同性愛者のお祭りがあるなど、寛容的な国もある。先進的な取組については、海外や姉妹都市などにも目を向けて参考にするのもよいかもしれない。国民性もあるため、単純に同じようにすることはできないと思うが。</p> <p>(委員) 日本でも明後日に渋谷でレインボーパレードというものがある。</p> <p>(委員) 今年は目黒川の桜の花見に外国人が目立った。男女平等・共同参画の問題について、外国人向けのPRパンフレット等は作成しているのだろうか。</p> <p>(区側) 現在は外国人向けのパンフレット等は作成していない。意識調査については外国人対応も行っている。</p> <p>(委員) 目黒区ではどの程度外国人が住んでいるのだろうか。</p>
--	---

	<p>(区側) 住民登録している人で3%程度である。</p> <p>(委員) L G B T等の該当者が社会に一定程度いるという認識は広がっているように思える。しかし、例えば同じ社内の話になるとあまり意識が届いていないような状況がある。それはハラスメントやいじめにつながる危険性があることであり、しっかりとした理解を高めることが大切だと思う。</p> <p>(委員) 学校教育でしっかり教えていくことが重要であると区民の方が考えていることは意識調査でわかった。教育現場で実践されていることとは思いますが、大人になってもきちんと理解できているかという継続性については、まだ不十分な印象である。</p> <p>(委員) 学校教育の中で学ぶことも重要だが、家庭内での価値観も子どもには大きく影響するため、区民全体の意識啓発も大切だと思う。</p> <p>(委員) 教育などにより当事者も理解し、自身が感じていた違和感はこのことだったのかと自覚する子どももいる。子どもがそのことに気付いた後にどのようにフォローするかが課題になる。</p> <p>(区側) 前回の「であいきらり」の特集号で当事者の特集記事を掲載したが、その中で、自分がどのような言葉に該当するのかわからない不安感があり、概念を理解することで安心したという当事者の声があった。男女のみではなく、L G B T等の方も社会には当然にいるということが広く認識されていくと、子どもが育つ環境がよりよいものになると考えさせられる記事になっているので、ぜひ参考にお読みいただきたい。</p> <p>6 閉会 次回の開催予定について事務局が説明して閉会 以 上</p>
--	---